

平成25年第14回教育委員会会議
報告事項（3）

義務教育課

1 報告事項 平成25年度第2回沖縄県学力向上推進本部会議

2 日 時 平成25年10月11日（金） 10:00～12:00

3 参加者 教育指導統括監、参事、各教育事務所長(6)、関係課長(6)
学力向上推進班長、推進班指導主事(8)

4 日 程

- | | |
|--|----------|
| (1) 開会のことば | 学力向上推進班長 |
| (2) 本部長あいさつ | 教育指導統括監 |
| (3) 報告・説明「全国学力・学習状況調査」 | 担当主任指導主事 |
| (4) 協議「『30%未満の児童生徒の改善』で効果を
上げている学校の実践の共有」と今後の取組 | |
| (5) 総括 | 教育指導統括監 |
| (6) 閉会のことば | 学力向上推進班長 |

5 協議の主な内容

(1) 全校体制による授業改善を継続する。

- ① 平成25年6月の提言事項を引き続き徹底していく。
- ② 全国学力調査や県到達度調査の問題を年間指導計画に位置付け、授業で活用する。
- ③ 成果を上げた学校の取組を参考に、自校の実態に応じて共通実践する。

(2) 持ち上がり担任制で、児童の成長を2年単位で見取る。

- ① 2年スパンで学級経営にあたることで、担任と児童との信頼関係や児童相互の人間関係が構築され、十分な児童理解の中で個に応じた指導が充実する。
- ② 学年を跨いで担当することで、学習内容の定着に係る結果責任を学級担任自らが負うことになり、児童個々の確かな学力の向上が充実する。
- ③ 学年を跨いで担当することで、最も慌ただしい時期である1年目の学年末及び2年目の学年始の取組がゆとりをもって対応できる。
- ④ 次年度は、本県の状況を考慮して、5・6学年での持ち上がりについて各地区で積極的に推進する。

(3) 春休みに、次年度につなぐ取組を徹底する。

- ① 指導した児童生徒を年度末でリセットせず、次年度につなぐ取組を行う。
- ② 修了年度の既習内容を復習するよう宿題等を与え、次年度当初に確実に点検する。(徹底)

(4) 教育課程を効果的に見直す。

- ① 長年の慣習にとられることのないよう、校長のリーダーシップの下、学校行事や年間指導計画等、教育課程の見直しを行う。
- ② 中学校において、定期テストの間に確認テスト(実力テスト)を全学年で実施し、既習事項の定着を徹底する。

(5) 学業と部活動のメリハリをきちんとつける。

- ① 部活に集中する時間、学習に集中する時間をはっきりさせ、生徒自ら実行できるよう指導する。(終了時間の厳守と帰宅指導の徹底)
- ② 定期テスト前の部活動停止期間の厳守を徹底する。
- ③ 出場する大会やコンクールを精選し、土日の家庭学習の時間を確保する。